

HIROSHIGE BLUE

広重ブルー

2024.

10/5 土

12/8 日

前期 10月5日[土]~11月4日[月・祝]

後期 11月9日[土]~12月8日[日]

※前後期で全点展示替え

開館時間 | 10時30分~17時30分(入館17時まで)

休館日 | 毎週月曜日(10/14、11/4は閉館)、10/15、11/5~11/8(展示替えのため)

入館料 | 一般1000円 大高生700円 中学生(15歳)以下無料

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART



【問合せ】050-553418600(ローダイヤル)【公式サイト】<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

 ukiyoeota





歌川広重「東都名所 高輪の明月」(前期)



歌川広重「京都名所之内 あらし山満花」(後期)



葛飾北斎「富嶽三十六景 相州梅沢左」(後期)



歌川国芳「東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望」(前期)



歌川広重「芦に鴨」(後期)



歌川広重「四季江都名所 夏两国之月」(前期)



歌川広重「名所江戸百景 猿わか町よるの景」(後期)

風景画の巨匠、歌川広重(1797~1858)。その作品は今も高い人気を誇りますが、とりわけ空や海の深く美しい青が印象的です。これは1830年頃から浮世絵に用いられたベロ藍(ベルリンブルー、プルシアンブルーとも呼ばれる青色)の絵具によるもの。広重はベロ藍を用いて刻々と変わる空模様や水面を繊細に表現することで、人気絵師の階段をのぼっていったのです。そしてその豊かな詩情をたたえた作品は、「名所江戸百景 京橋竹がし」(表面)がホイットスター・ノクターン…青と金色―オールド・バターシー・ブリッジ(イギリス、テート・ギャラリー)に影響を与えるなど、国境も超えて人々を魅了していきました。

本展では広重のベロ藍を用いた名作の数々を中心にご紹介し、愛され続ける広重の青の秘密に迫ります。



歌川広重「月に兔」(前期)

【学芸員によるスライドトーク】

展示の見どころを担当学芸員が解説します。

2024年10月8日(火)、16日(水)、24日(木)、
11月13日(水)、22日(金)、26日(火)
各回午前11時~(約30分) 定員50名

当日10時30分より美術館受付にて整理券を配布します。
聴講には本展の当日入場券と整理券が必要です。
整理券は展示会にご入場の方1名につき1枚まで。

太田記念美術館

ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

【アクセス】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10
JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

予告なく予定を変更する場合がございますので、当館ウェブサイトやSNS、ハローダイヤル(050-5541-8600)にて最新情報をご確認ください。

